

科目名	文章表現・読解					授業の種類	演習	必修・選択		必修
授業回数	15	回	時間数	30	時間	1	単位	配当学年時期	1年	前期
【授業の目的・ねらい】 国家試験では、時間内に文章問題を読んで理解し解答する能力が必要となる。また、医療現場では記録や論文を書く力・読む力、社会人として適切な語彙力が必要となる。これらを身につけるため、正しい日本語を使えるようになり、目的に応じた文章の表現の仕方を理解できるようになる。										
【実務者経験】										
【授業全体の内容の概要】 グループワークや演習を行い、文章や漢字、敬語などを身につけていく。医療人・社会人として目的・状況に応じた文章表現、文章読解について学ぶ。										
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 臨床工学技士は医療職として患者や他の医療従事者と関わる。また、学会発表などの機会もある。その状況や目的に適した表現の仕方を学び、自分の考えや思いを整理し表現する力を身につける。										
回数	講義内容								準備物(教材)	
1	授業ガイダンス：なぜ文章を学ぶのか、文章を書いてみよう									
2	敬語									
3	文章を要約する									
4	レポート・論文の書き方									
5	看護記録とは									
6	学会発表のスライドの作り方・発表の仕方									
7	社会人としてのメール・手紙の書き方									
8	履歴書の書き方、演習：履歴書を書く									
9	演習：正しい敬語を身につける									
10	演習：文章を要約する									
11	演習：スライドを作る									
12	演習：前回作成したスライドを用いて発表をする									
13	演習：メール・手紙を書く									
14	1回目と同じテーマで文章を書く									
15	まとめ：授業前後の自分の文章を比較する									
【使用教科書・教材・参考書】 ・看護学生のためのレポート・論文の書き方 第6版、高谷 修、株式会社金芳堂 ・配布資料										
【準備学習・時間外学習】 ・準備学習として、シラバスを参考に教科書の当該箇所をよく読んで講義に臨むこと ・日常における講義時の板書やノートまとめは丁寧な字を書くよう心がけ、普段から漢字を用いること、なるべく教科書の丸写しを避け、要点をまとめる努力をすること										
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する 小テストを40点、課題の評価を60点として合計100点とする 60点以上の場合に科目を認定する										